

「新之助」の刈遅れに注意してください

令和4年9月30日
新潟県農林水産部

- ◎ 10月1日から4日にかけて、胴割粒発生の危険水準を超える乾燥が予想されます。
- ◎ 成熟期を迎えている「新之助」は速やかに収穫し、刈遅れないように注意してください。
- ◎ ていねいな乾燥・調製で品質を確保しましょう。

〔気象状況〕

- ◎ 新潟県では、10月1日から4日頃まで平年より高い気温が見込まれており、新之助の胴割粒発生の危険水準を超える乾燥、 6 g/m^3 を超える日平均飽差*¹が予想されます。

*1: 飽差は空気の乾燥程度を示す指標。数字が大きいほど乾燥程度が大きいことを示す。
新之助で胴割粒が増加する日平均飽差の基準は 6 g/m^3 以上

〔当面の管理対策〕

- ◎ 籾水分が22%未満の時期に、極度に乾燥した状態に遭遇すると胴割粒が急増します。成熟期を迎えている新之助では、速やかに収穫し、刈遅れないように注意してください。
- ◎ 収穫時の籾水分が低い場合は、胴割れの発生を防止するため、日中の加熱乾燥を避け、常温で通風乾燥を行いましょう。点火は夜間等気温が下がってから、毎時乾燥速度が0.5%以下になるよう送風温度を低めに設定して乾燥してください。
- ◎ 乾燥機に2段乾燥機能や休止乾燥機能がある場合はそれを活用しましょう。
- ◎ 篩い目1.9mm以上を使用し、適正な流量で丁寧に調製して、1等級の品位（水分含有率14.0～15.0%）に仕上げましょう。
- ◎ 必要に応じて篩い目を上げたり、色彩選別機を活用するなど、品質基準を満たすよう調製を徹底しましょう。